

第6学年 国語

第6学年の学習到達目標

- (1) 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする。
- (2) 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。

第6学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	一 想像を豊かにして「語り」をしよう 風切るつばさ ・図書館へ行こう	●心情や情景を想像し、表現を味わいながら、朗読の工夫をする。	○叙述をもとに、作品に描かれた心情や情景を読み取る。[強調した読み方] ○日本十進分類法や請求記号を知り、図書館利用方法を確かめる。
	表現をくふうして書こう	●いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。	○比喩法、反復法、倒置法などの表現技法を用いて詩を書く。
	二 自分の考えを明確にしなが ら読もう イースター島にはなぜ森林 がないのか	●筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。	○筆者の主張についてまとめ、それに対する自分の考えを発表し合 う。
	学校の良さを宣伝しよう	●根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。	○具体例やキャッチフレーズを入 れ、物事の新しい見方を示すなど し、工夫して話す。
	三 物語が強く語りかけてき たことを考えながら読もう ばらの谷	●物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。	○場面の構成をとらえ、中心となる人物の変容や題名などを手がかりに、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをとらえている。
	意見を聞き分けよう	●複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。	○共通点や相違点を考えながら意見を聞く練習をする。
	四 書き手のくふうを考えなが ら新聞の投書を読もう 新聞の投書を読み比べよう 「わたしの意見」を書こう	●読み手を説得するための工夫を読み取る。 ●書く事柄を整理し、構成を考えて、意見文を書く。	○読み手を説得するための理由付けの仕方や根拠の挙げ方の工夫をとらえる。 ○書く事柄を整理して構成を考え、具体例や根拠を挙げて説得力のある意見文を書く。
	漢文を読んでみよう	●漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。	○言葉の響きやリズムを味わいながら音読したり暗唱したりする。
	問題を解決するために話し合 おう	●自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。	○クラスで解決したいテーマを取り上げて話し合った後、話し合いを振り返る。
	資料を活用して書こう	●資料を効果的に使って文章を書く。	○資料の内容を読み取り、必要な資料を選んで内容を活用し、呼びかけの文章を書く。
一 人物の生き方を考えなが ら読もう 海のいのち	●物語に出てくる人物の関係をおさえ、自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。	○中心人物の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを捉え、まとめる。	
子ども句会を開こう	●表現を工夫して、俳句や短歌を作る。	○身の回りの生活の中から五感を働かせて俳句の材料を集め、言葉や表現を吟味して俳句を作る。	
二 「持続可能な社会」への取 り組みについて調べよう 未来に生かす自然のエネルギ ー	●資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。	○調べて分かったことを整理して、資料の示し方や具体例の挙げ方を工夫してリーフレットにまとめる。	

後期	三 資料を使って説明しよう 深めよう、言葉の世界	●資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。	○資料や発表メモを作り、発表をする。
	四 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう ヒロシマのうた	●一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。	○登場人物の生き方や題名の意味などについて考える。 ○人物の生き方を考えながら、同じテーマの本を読む。
	五 ふるさとの良さを文章で伝えよう ふるさとの良さをしょうかいしよう	●目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 ●しょうかいしたいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書く。	○必要な材料を選び、選んだ形式に合わせて表現を工夫して書く。
	伝えよう、大切にしたい名言	●目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書く。 ●伝えたいことを明確にして、話の組み立てを工夫して話す。	○選んだ名言について話したいことを整理して組み立てを考え、スピーチをする。
	六 わたしたちの日本語について考えよう 豊かな日本語の使い手になろう ・雨のいろいろ ・数え方でみがく日本語	●筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書く。	○日本語の特性に興味を持ち、言葉に込められた思いや願いを考える。 ○読み手を意識して、書き出しや具体例の挙げ方、構成などを工夫して自分の考えをまとめる。
	七 未来に向かって 君たちに伝えたいこと 春に	●文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げ深る。	○書き手のメッセージをとらえ、自分の考えや思いを深めながら読む。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点 それぞれ学習を進める中や学習後に評価します。 【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとしている。 【話す・聞く能力】 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりしている。 【書く能力】 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章を書いている。 【読む能力】 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。 【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、分や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法 ① 知識や理解・技能だけでなく、児童の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。特に、6年生では、学校や社会において問題だと感じた事や、解決するために考えたことの中から、伝えたいと思う話題を探し、それについて話したり聞いたりする活動を重視していきます。 ② ペーパーテストだけでなく、日常の学習の様子、発言、ノート、作文、自己評価、相互評価など様々な面から多面的に評価します。 ③ 学習の進行中に現れる児童の思いや願い、疑問を常にとらえ、次の指導に生かします。 ④ 自分自身の学習の仕方や理解の程度など、個の内面の変容を把握できるよう児童が自己評価したものを参考にします。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) 基礎学力の定着・・・日常生活に必要な、話す・聞く、書く、読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習していきます。 (2) 主体的な学習活動・・・主体的に学習に取り組もうとする態度を育てるために、教材文から興味・関心をもった事柄や課題の情報を収集・整理し、ミニ伝記や情報誌、文集などにまとめるという活動を行います。 (3) 「伝え合う力」の育成・・・朗読や新聞、感想文など、自分の表現したい方法を選択し、発表会を開きます。そして、自分の意図や考え、思いを聞き手に伝える「的確に話す」能力と「相手の意図をつかみながら聞く」能力を育て、言葉で伝え合う能力を高めていきます。</p>

使用教材等

<p>○ 教科書 「新しい国語 6年」(東京書籍)、漢字ドリル ○ 学校図書館や情報機器類の活用 課題決定や必要な情報の収集・整理、まとめ、発表などの能力を高めるために、また、楽しく活発なまとめや発表活動が展開できるように、学校図書館や情報機器類を積極的に活用します。そして、目的に応じて情報を広げたり、質を高めたりしていきます。</p>

留意事項

<p>(1) ノートの種類 15行のノートを使います。漢字練習帳は、150字帳を使います。 (2) 小学校での読書習慣は、生涯学習の基礎とも言われます。家族で一緒に読書を楽しみ、1冊の本について意見交流する時間をもってみるのはいかがでしょうか。 (3) いろいろな言葉を身に付けていくために、日常生活においても辞書を活用して調べる習慣の定着化が図れるよう、必要な時にはいつでも辞書が手元にあり使える環境にしてみたいと思います。</p>
